

平成30年度 第3回 常任理事会議事録

日 時 平成30年6月16日(土) 9時30分～11時30分
場 所 北海きたえーる小研修室
出席者 渋谷研一、大江憲一、黒田謙二、田中昌幸
沓沢幸一、丸山道博、浅野泰弘、碓井喜晴
春間好実

<進行：黒田副理事長>

1. 開 会

※議事録署名人に渋谷理事長、黒田副理事長、碓井常任理事の以上3名とする。

2. あいさつ (渋谷理事長)

昨日までのインターハイ予選が終了し、各地域の高校が最終日に残ったことは地域の活性化にとって良いことだと考える。今後各カテゴリーで全国大会の予選が始まるので引き続きよろしく願います。

3. 協議事項

(1) JVA 表彰候補者の選定について (総務委員長)

○加盟団体都道府県役員在任20年以上を目途として推薦している。今年度のJVA表彰候補者に高坂猛氏、大村暢彦氏を推薦の候補者として進めて行く。(後日調査で高坂氏は2年後に対象)

(2) 2018世界選手権女子札幌大会について (渋谷理事長)

○6/20までの予定で先行販売予約を受け付けているが、昨日現在100枚程度しか申し込みが無い状態である。現在一般販売をローソン、道新プレイガイドをお願いしているところである。サポート札幌にも問い合わせもある。

○各部から部員・スタッフ一覧の報告があるが、具体的な各セクションの業務の関係で改めてお願いすることもある。総務の方で日付別の宿泊者数のとりまとめを行い早めにホテルと調整を行う。

○エスコートキッズの実施の有無を問い合わせしていたところ、開催地の希望によるとの回答があった。実施する場合、エスコートキッズの担当は小連に願います。

○学生ボランティアについては大学単位でボールリトリバー、フラッグホルダー、クイックモッパーをお願いしているところではあるが、まだ取りまとめはできていない。当日夏休み中の大学は少なく、土日は良いが平日の授業のカリキュラムの確認後に連絡を頂ける大学もある。フラッグホルダーは女子、その他は男女問わない。8/18(土)札幌西高で9:00～13:00までコートアナウンスを含めボールリトリバー、フラッグホルダー、クイックモッパー、ラインジャッジ、VISの総合研修会を実施する。

- スタッフ・役員の移動は基本的に公共交通機関とする。宿泊を伴う地方から自家用車で来る場合、宿泊最終日のチェックアウト後は近隣の有料駐車場を活用して頂く。
- 全体会議、各部会のスケジュールについては、運営マニュアルが固まり次第実施する。
- キューバチームが大会1週間前(9/19~26)に深川で合宿し9/27に札幌に入る。合宿中ヴォレアス北海道と練習マッチを実施する。3連休で妹背牛、深川、芦別で5セットマッチの公開ゲーム、最終日に旭川で開催する。
- 宿泊随行の役員数は、宿泊輸送の本部に2名、選手ホテルに2名とし、各チーム1名のチーム随伴とする。
- 競技委員は、日程毎の人数調整を行う。女子更衣室の清掃及び接待についてはママ連よりお願いする。
- 医事部の看護師が無くなる。
- 前大会で競技と宿泊輸送のコミュニケーションにより、チームの動線を確保できた。今回も選手の誘導に活用していく。

(3) 加盟団体助成金の見直しについて（総務委員長）

- 昭和49年度からの登録チーム数の総合計は昭和62,63年度をピークに減少が続いており、平成29年度は1500チームを切った状況である。収入の賦課金は減少していくが、助成費は固定価格でその収入が年々目減りしていく。加盟団体によっては賦課金より助成費が多い逆ざやの現象も見受けられるので、チーム数の減少による課題として今後賦課金と助成金の関係の見直しの中で整理していかなければならない。年度別収支決算額では、近年一般会計での収支状況はおおむね収支均衡である。平成23,34年度で大掛かりな基金の見直しを実施し、基金残高を見ると平成25年でピークに達し、強化育成事業で毎年300万前後強化育成基金から支出をしている。平成29年度末で3千万の基金残高総額があり、一般会計が維持されていれば10年間は持つことができる状況ではあるが、見直し検討の主体をどのようにするのか、検討課題に対してどのくらいの年月をかけて解消していくのか、一般会計、各種基金の残高状況も踏まえ早急に検討しなければならない。
- 財政検討委員会から提案された助成金の見直しについては常任理事会の中に小委員会（理事長指名の4名程度）を立ち上げ原案を作成することとなった。

(4) その他

- 天皇杯・皇后杯ブロックラウンドに学連は春季リーグの優勝チームを推薦しているが、今回女子優勝の岩見沢教育大学が推薦返上の申し入れがあり、準優勝の北翔大学が出場することを承認された。

4. 報告事項

(1) 日協関係（渋谷理事長）

- 今月末にブロック理事会と加盟団体代表員総会に理事長が参加する。その際に理事会にもあったMRSの要望やその他の要望については25日まで連絡をお願いする。

(2) 各委員会

- 総務委員会 倫理委員会案件の動きはなく、教育委員会の処分が決定次第倫理委員会を開催する。
MRS では個人登録や大会の申し込みについて一度登録すると変更がきかない部分があり、その他旧システムでできていたことが新システムではできない点の改良などを理事長に要望をお願いする。
- 競技委員会 インターハイ予選会の報告がある。男子優勝は東海大札幌、女子優勝は札幌大谷、男子準優勝はとわの森、女子準優勝は帯広南商業で、この 4 チームが全国大会に出場する。来年度は統一地方選挙や参議院選挙もあるので、天皇杯・皇后杯北海道ラウンドの開催地、日程も含め大会の調整を検討する。
- 審判委員会 釧路の中学生大会について北海道協会に投書があり、釧路中学校の先生を通し当該チームの監督に事情を説明し保護者に説明して頂くこととなった。
- 強化委員会 インターハイ北海道予選終了後、国体少年の選抜チーム監督を優勝チーム監督に依頼をしている。男子の選手選考会が 6/23, 24 北翔大学、女子の選手選考会が 6/30, 7/1 東海大学で実施し、その後 1 週間後には監督・選手を決定する予定である。成年に関しては北海道選抜チームで臨めないかと各加盟団体に問い合わせていたが、今年は選抜チームを作らず従来通りのブロック予選会を苫小牧で実施する。
- 実連 6 月末に日本マスターズの北海道予選会を妹背牛体育館で男子 4、女子 3 で実施する。翌日に社会人東ブロックの予選会を男子 3 で実施する。同日に富樫杯を男子 8 で実施する。日本マスターズの審判研修会を土日実施する。今年度総合 9 人制の参加は無い。
- 学連 次週からの東日本大会に男女数チームが参加する。
- 高体連 来年のインターハイは稚内の予定である。
- 小連 今年度から初めて冠の無い大会となる。「全日本バレーボール小学生大会」北北海道大会が 6/23, 24 帯広、南北海道大会が 7/7, 8 札幌で開催する。

(3) その他


- 次回の常任理事会開催予定の 7/21 はイベントが重なり日程を調整する。

5. 閉 会


【次回：未定】

議事録署名人

理事長

渋谷 研一 

議事録署名人

黒田 謙二 

議事録署名人

碓井 喜晴 